



保桑又扶
編述

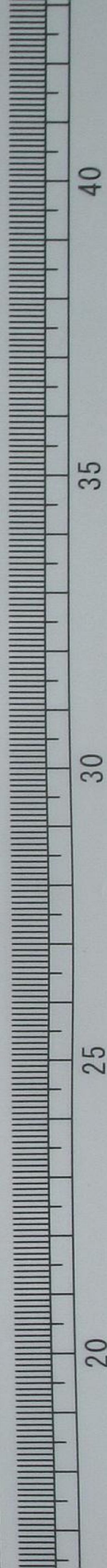
鬼母里歌

第一輯

柳田文庫

文庫11

A1465



文庫11
A1465

久保
杖桑編
純
古書

鬼母里歌

櫻隄余霞樓藏版
棠枝堂發兌

齊陽

柳田泉文庫

讀世

書師篇

久保氏藏

是言

國語

明治七年 四月 秋月 撰題

秋 楊 陽 小 莊 鷗 迎 鷗 島 溪 雲



緒言

此書ハ皇國外
國のみちを
賢人達の
言語の中にも
教へたるを
きかるとを
て専ら童
謡ふたを
習字小使
ありしめ題



明治七年

新編 久保氏蔵

て児もり歌ぞ
いふ慈母乳媼
常小枕邊のき
一話小換てよの
歌を誦す一々
バ赤毛のゆを
びれ一端とを
なさん
明治七年四月
編輯者記



見もり歌

第一輯

久保扶桑編

世に中ふ
かき
物



久保氏蔵

の。靈たまひなる人ひと純じゆん
性せい質しつと善ぜんふふい
あまきとあさ明めいつつり。
目めふふ照しやうき耳みみに

聴きくくあをれ直なほえ
正ただしくくあかき
せせ水みづ砂すな谷やり
恒あたふひひ方あた圓ちを

味^{あじ}さふ異^{こと}なる
比^ひ致^ちひ深^{ふか}る
以^{もつ}て身^み
能^{あた}行^{おこな}ひを禽^{きん}獸^ぶ

に。均^{ひと}一の
の。お。も。た。て
志^{こころ}さむむ人^{ひと}ひと里^{さと}
ふさ文^{ぶん}明^{めい}の大^{おほ}清^{きよ}

代々。恵も源氏
鄙。すそ毛設
あ建ぬる小学
そふれそ造物者

うね人。その授
里うけし。知を
ひもす。音ふ
初登山。たとひ字

中を結ぶき。
玉や難と應祿
光も出ると塊を。
共に響く世。

ふたつと古一
人能言の葉に。
三里道も一
歩はとむ。

望あまはき童女
よ。父と母や子恩
愛り。六歳の
春を起しなほ。

まづ小学より
そぞろ寸草を
規則を守る。

新編

保氏藏

三ひそ日く結
課業紙おとた
以、乃はそそ
五十音数字

名頭國盡皇統
御名を継ぎ
語痛一たる余
話篇またそそ

新編

保氏藏

紙を張るなりし。
一箱一書お面の。
名ふ陳へ隨そ榮。
雲、芳墨、拝見也。

貴人、紙、如く仕。
可、疾、頓首、拝、答。
也。用、子、大、ま。
幸、終、る、久、と、程。

誰の見るも
意の通はるを
専一と。夕ふ家
に帰るまなふよ

くあやな反復
漸次ふ等を
み越えやう
途みし中學よ。

早^{はや}う^うと^と道^{みち}る^る著^ふ
通^{つう}学^{がく}試^し験^{けん}も^もす^すみ^み
大^{だい}学^{がく}り^り学^{がく}ぶ^ぶ
法^{ほう}律^{りつ}政^{せい}治^ち科^か也^や

岩^い械^{がい}測^{そく}量^{りやう}鑛^{かう}山^{さん}
科^か史^し学^{がく}文^{ぶん}学^{がく}医^い
学^{がく}科^か学^{がく}分^{ぶん}立^{たち}
如^{ごと}く^く専^{せん}門^{もん}科^か実^{じつ}

地不術ちふじゆつをほやと

功成こうせい至名あな

遂とおのくこのみ好

英語佛蘭

西語羅甸希臘

和蘭語獨乙魯

西亞語支那語

すうきやう
おひ
弘ひろ

異人。能。情。を。察。
一。確。然。と。立。る。
目。達。の。商。法。也。
社。商。會。を。申。す。に。よ。く

其。力。を。助。け。る。
皇。土。實。業。盛。大。
能。便。利。を。せ。る。也。
電。報。線。を。通。す。に。

外そとのふく子こ物もの
品ひんに相さう場ばや音おと子こ
奇き談だん瞬しゅんに問もんみ
問もんとつ報ほうも

左ひだりつ郵ゆう便びんの
善ぜんと港みなとの是こゝ
幸さいね松しょう出だと皇こう
國くにの産うぶ物ものと箱はこ糸いと

銘茶陶漆益年
ふすく日ふ
ふく茶益年
久海外ふ得たる

利潤ふ活計
國を冒しめ
兵を強ふ
籌策ふ他ふ求

卷三

十六
○久保氏藏

士君子と皆いと
ものふきききき
や身は曉秋
の月降る土は雪

此冬の日のは
日を惜みつ
撓む研る學問
智識ひろめ

功績^{いさ}ど。登^{のぼ}も歐羅^{やろ}羅^ろ
巴^パ亞細亞^あ細^と石^や沙^ま水^みと
南^{みなみ}亞細亞^あ米利加^{めりか}也。
亞非利加^{あふりか}洲^{しゅう}五^ご

大^{だい}海^{かい}と中^な中^{ちゅう}も
國^{くに}異^い主^{しゅ}地^ち方^{ほう}の^のも
主^{しゅ}風^{ふう}何^{いか}也。顔^{がん}
也。主^{しゅ}語^ごの^のも主^{しゅ}

十八
保氏
載

やもまゝぬ義
理と人情を忘るぬ
ハ野蠻夷秋とさす
賤しめらるる人

あゝ人あゝ甲
斐をさすもなご今
や父運日ふ進みつ
さふ閑る君の世

うまきあひぬ
童男女こどもらに常つねに
心こころふ熱あつく風ふうまをそ
まづ第一だいいちに身み

體たいや衣服いふく住居ぢうこ
を潔いさめく清きよく保たも
つゝ健康けんこうに産うま
るゝあ徒いたづふ花はな集あひ

を好みと飲食の
度を過すと疾
病を毎と種を
王情欲を制し

抑て苟も奢に
耽る財貨をバ
り費し耗せ
あふ偏ふ益とある

業^{わざ}を^を励^{とげ}み勉^{つと}めそ
明日^{あした}あるとすうた
逢^{あひ}うた^うた^たま^まある^{せい}ま^まな
残^{あだ}空^あふ^ふお^おう^うる^るな

糖^{ことじやう}母^を老^いう^うに^{のち}後^{のち}
の^の功^{こう}名^{めい}人^{ひと}よ^よ如^い
ま^まを^を申^{まう}め^めま^まを^を
為^あす^すと^と決^{かつ}す

ぬる事能正理ふ
満ひまばいのり
危難ふのそむき
も。う。る。く。節。を

屈せむ意思を
小誠實を盡し
人小損害を
む受あし思徳

冬。必^ふずともふ報^{はく}
ゆ。厚^う。人^{ひと}。能^よふ
丹^に。心^こ。之^こ。事^{こと}。家^け
と。事^{こと}。之^こ。事^{こと}。能^よく

万^ま。事^{こと}。之^こ。事^{こと}。已^いに
と。事^{こと}。之^こ。事^{こと}。能^よく
す。心^こ。之^こ。事^{こと}。能^よく
他^た。人^{ひと}。之^こ。事^{こと}。能^よく

み 懐ふまをけうぞ。
人 子もあまは
知る可き。解の才
のうを省く人の己

ふとつらぬ家
のあまは誠心の
あまはねえ
己の才を責む他

人を恨むより愚^{おろ}
能^たおも他の人^{ひと}能^た過^か
失^しを^を明^{あき}白^らふ。
賢^{けん}き人^{ひと}を己^{おの}の才^み

能^た悪^{あく}を^をするを^をま
れ^れなるを^を人^{ひと}を^をま^ま
る能^たう^うるを^を家^か
身^みを^をあつ^{あつ}おの^の

己をゆるさるる
他人の人を怒り
己の欲をこころす
他人ふ施さるる長

者ふ事へゆるす
己と難も悔
たに謙遜をよ
とて人自由

を妨^{さまた}めおぼせ。また
他^たおひとり己^{おの}が
身^みに自由^{ゆう}の権^{けん}を害^{がい}
せしむ。不^ふ西^{せい}羈^か弱^{じやく}立^{りつ}

に一家^{いっか}内^{ない}やまて人^{ひと}
治^ちを睦^{むつ}びておぼせはじ
めとあり。茶^{ちや}あ
物^{もの}に害^{がい}する人^{ひと}に

名
小
北
の
純
古
書

名あ
小
北そむ
の
純
古
書

純古書

児
由
聖
歌

第一輯終

010190528192

